

市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日の翌々月の広報うつのみやで入選作品を発表します。

特選

子が数へ母がうなずく木の实かな

さつき3丁目 伊藤 幸子

特選

副都心高層ビルを見上げれば
真四角の空が蒼くぬけゆく

下岡本町 高尾 信尚

特選

ウエストは多分おそろくこの辺り

下田原町 五十嵐 由美子

表

裏

宇都宮市役所
広報広聴課
住所・氏名・ふりがな・壇名

作品
作品への思い
作品への思い

●特選の選評 裏山に落ちているドンブリをポケットに入りきらないほど持ち帰り、母と一緒に楽しそうに数える子ども様子が目に浮かぶ。
「よろこばしきりに落つる木の実かな」
富安風生の句が思い出された。

俳句



加茂都紀女先生

入選

野の道を車椅子押す萩の道

不動前2丁目 山中 ヒロ子

名月やワイン楽しむひとり膳

平松3丁目 伊藤 安

どさどさと山麓の壺に曼珠沙華

日の出1丁目 大島 康正

鬚乱るほど張り手を食らふ大相撲

緑2丁目 片嶋 青水

短歌



藤本 都先生

入選

故郷の無人の駅に降り立てば
海岸線が迎えてくれる

下田原町 和田 文男

胸を張れ背筋伸ばせと叱咤する
鏡の中の猫背の我に

清原台1丁目 三木 紋子

梅花藻を川一面に咲かせむと
水面掻き行く守人一人

清原台6丁目 小太刀 節子

秋日差す人影のなき山里に
金木犀の香り漂う

西2丁目 佐藤 順子

川柳



佐藤隆久先生

入選

会いましょう果たせぬままに大晦日

中岡本町 中沢 智子

ありがとう交わす横断登下校

岩曽町 川室 正男

かげ口の底にストンと落ちてゆく

城東1丁目 網川 光江

孫の世話痛い足腰雲がくれ

中戸祭1丁目 阿部 寿美江

俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句(首)以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面=住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面=作品(漢字にはふりがなも)・作品への思い。
- 毎月20日(消印有効)までに、〒320-8540市役所広報広聴課☎(632)2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市HPをご覧ください。

ID 1022877



市HP